

令和2年度

小樽市産業廃棄物等処分事業決算書

目 次

1	決算報告書	
	令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業決算報告書	
	(1) 収益的収入及び支出	1
	(2) 資本的収入及び支出	2
2	財務諸表	
	(1) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業損益計算書	3
	(2) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業剰余金計算書	4
	(3) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業剰余金処分計算書	4
	(4) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業貸借対照表	5
	(5) 附属書類	
	イ キャッシュ・フロー計算書	6
	ロ 収益費用明細書	7
	ハ 固定資産明細書	8
	(6) 令和2年度決算に関する注記	9
3	令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業報告書	
	(1) 概 況	1 1
	(2) 工事等	1 1
	(3) 業 務	1 2
	(4) 会 計	1 2

1 決算報告書

令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	合 計			
第1款 産業廃棄物等 処分事業収益	円 147,682,000	円 —	円 —	円 147,682,000	円 153,299,816	円 5,617,816	(うち、仮受消費税及び地方消費税額 13,871,320 円)
第1項 営業収益	146,392,000	—	—	146,392,000	151,910,440	5,518,440	(うち、仮受消費税及び地方消費税額 13,810,040 円)
第2項 営業外収益	1,290,000	—	—	1,290,000	1,389,376	99,376	(うち、仮受消費税及び地方消費税額 61,280 円)

支 出

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正予算額	予 備 費 支 出 額	流 用 増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計				
第1款 産業廃棄物等 処分事業費用	円 147,525,000	円 △ 2,970,000	円 —	円 —	円 —	円 144,555,000	円 —	円 144,555,000	円 135,421,754	円 —	円 9,133,246	(うち、仮払消費税及び地方消費税額 8,457,584 円)
第1項 営業費用	142,393,000	△ 2,970,000	—	△ 1,192,500	—	138,230,500	—	138,230,500	130,097,254	—	8,133,246	(うち、仮払消費税及び地方消費税額 8,457,584 円)
第2項 営業外費用	4,132,000	—	—	1,192,500	—	5,324,500	—	5,324,500	5,324,500	—	—	(うち、消費税及び地方消費税額 5,193,500 円)
第3項 予 備 費	1,000,000	—	—	—	—	1,000,000	—	1,000,000	—	—	1,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額						決 算 額	予算額に 比べ決算 額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	継続費通次繰 越額に係る財 源充当額	合 計			
第1款 資本的収入	円 50,000,000	円 —	円 50,000,000	円 —	円 —	円 50,000,000	円 50,000,000	円 —	
第1項 貸付金償還金	50,000,000	—	50,000,000	—	—	50,000,000	50,000,000	—	

支 出

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			不用額	備 考
	当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	継続費通 次繰越額	合 計		地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	継続費通 次繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	円 —	円 2,970,000	円 —	円 2,970,000	円 —	円 —	円 2,970,000	円 2,420,000	円 —	円 —	円 —	円 550,000	(うち、仮払消費税及び地方消費税額 220,000円)
第1項 建設改良費	—	2,970,000	—	2,970,000	—	—	2,970,000	2,420,000	—	—	—	550,000	(うち、仮払消費税及び地方消費税額 220,000円)

2 財務諸表

(1) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 営業収益			
(1) 産業廃棄物等 処分手数料	<u>138,100,400</u> 円	138,100,400 円	
2 営業費用			
(1) 維持管理費	112,067,937		
(2) 減価償却費	<u>9,571,733</u>	<u>121,639,670</u>	
営業利益			16,460,730 円
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	65,854		
(2) その他営業外収益	<u>1,262,478</u>	1,328,332	
4 営業外費用			
(1) その他営業外費用	<u>131,000</u>	<u>131,000</u>	<u>1,197,332</u>
経常利益			<u>17,658,062</u>
当年度純利益			17,658,062
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処分利益剰余金			<u><u>17,658,062</u></u>

(2) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業剰余金計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金		剰余金				資本合計
	自己資本金	資本剰余金	利益剰余金				
			利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	1,876,508,152	0	1,065,435,197	20,000,000	87,874,658	1,173,309,855	3,049,818,007
前年度処分額	0	0	87,874,658	0	△ 87,874,658	0	0
条例第2条による処分額	0	0	87,874,658	0	△ 87,874,658	0	0
利益積立金に積立	0	0	87,874,658	0	△ 87,874,658	0	0
処分後残高	1,876,508,152	0	1,153,309,855	20,000,000	(繰越利益剰余金) 0	1,173,309,855	3,049,818,007
当年度変動額	0	0	0	0	17,658,062	17,658,062	17,658,062
当年度純利益	0	0	0	0	17,658,062	17,658,062	17,658,062
当年度末残高	1,876,508,152	0	1,153,309,855	20,000,000	(当年度未処分利益剰余金) 17,658,062	1,190,967,917	3,067,476,069

(注) この計算書における△表記は、減少、損失又は欠損を示すものである。

(3) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	1,876,508,152	0	17,658,062
議会の議決による処分額	0	0	0
条例第2条による処分額	0	0	△ 17,658,062
利益積立金に積立	0	0	△ 17,658,062
処分後残高	1,876,508,152	0	(繰越利益剰余金) 0

(4) 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分手業貸借対照表

(令和3年3月31日)

資 産 の 部			負 債 の 部		
1 固定資産			3 流動負債		
(1) 有形固定資産			(1) 未払金		
イ 土地	1,397,755,319 円		イ 営業未払金	7,946,927 円	7,946,927 円
ロ 建物	46,283,021 円		(2) 引当金		
減価償却累計額	<u>△ 43,968,869</u>	2,314,152	イ 賞与引当金	<u>2,210,040</u>	2,210,040
ハ 建物附属	27,390,891		(3) その他流動負債		
減価償却累計額	<u>△ 26,021,346</u>	1,369,545	イ 預り保証金	<u>1,200,000</u>	<u>1,200,000</u>
ニ 構築物	589,878,938		流動負債合計		<u>11,356,967 円</u>
減価償却累計額	<u>△ 435,184,239</u>	154,694,699	負債合計		<u>11,356,967</u>
ホ 機械及び装置	22,606,510				
減価償却累計額	<u>△ 21,378,834</u>	1,227,676			
ヘ 器具及び備品	9,643,266				
減価償却累計額	<u>△ 9,063,952</u>	579,314			
ト 建設仮勘定		2,200,000			
有形固定資産合計		1,560,140,705 円			
(2) 無形固定資産			4 資本金		
イ 電話加入権		80,800	(1) 自己資本金		1,876,508,152
無形固定資産合計		80,800	資本金合計		1,876,508,152
(3) 投資					
イ 長期貸付金		80,000,000	5 剰余金		
投資合計		<u>80,000,000</u>	(1) 利益剰余金		
固定資産合計		1,640,221,505 円	イ 利益積立金	1,153,309,855	
			ロ 建設改良積立金	20,000,000	
			ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>17,658,062</u>	
2 流動資産			利益剰余金合計		<u>1,190,967,917</u>
(1) 現金及び預金			剰余金合計		<u>1,190,967,917</u>
イ 預金	<u>1,428,223,311</u>	1,428,223,311			
(2) 未収金			資本合計		<u>3,067,476,069</u>
イ 営業未収金	10,062,920		負債資本合計		<u>3,078,833,036</u>
ロ 営業外未収金	<u>325,300</u>	10,388,220			
流動資産合計		1,438,611,531			
資産合計		<u>3,078,833,036</u>			

(5) 附属書類

イ キャッシュ・フロー計算書

令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業キャッシュ・フロー計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益(△は純損失)	17,658,062 円
減価償却費	9,571,733
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,040
受取利息及び受取配当金	△ 65,854
未収金の増減額(△は増加)	1,540,770
未払金の増減額(△は減少)	△ 1,140,205
小計	<u>27,584,546</u>
利息及び配当金の受取額	65,854
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>27,650,400</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 2,200,000
短期貸付による支出	△ 2,300,000,000
短期貸付金の回収による収入	3,150,000,000
長期貸付金の回収による収入	50,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>897,800,000</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	-
資金増加額(又は減少額)	925,450,400
資金期首残高	502,772,911
資金期末残高	<u><u>1,428,223,311</u></u>

ロ 収益費用明細書

款	項	目	節	金額	備考
産業廃棄物等 処分事業収益	営業収益	産業廃棄物等 処分手数料		円 139,428,732	
				138,100,400	
				138,100,400	
			産業廃棄物等 処分手数料	138,100,400	
	営業外収益	受取利息及び 配当金		1,328,332	
				65,854	
			貸付金利息	65,854	
			その他営業外収益	1,262,478	
			構内駐車使用料	294,545	
			その他雑収益	967,933	
収益合計				139,428,732	

款	項	目	節	金額	備考
産業廃棄物等 処分事業費用	営業費用	維持管理費		円 121,770,670	
				121,639,670	
				112,067,937	
					予算額
			給料手当	12,942,300	12,943,000円
			賞与引当金繰入額	5,962,726	6,595,826円
			報酬	2,210,040	2,212,000円
			法定福利費	1,572,392	1,572,392円
			旅費	4,361,782	4,361,782円
			燃料費	101,560	
			光熱水費	6,628,630	
			動力費	30,585	
			修繕費	570,610	
			印刷製本費	161,400	
			備用品費	66,696	
			材料費	978,387	
			通信運搬費	462,000	
			保険料	38,182	
			手数料	5,206	
	委託料	78,091			
借料	75,280,350				
貸借料	352,100				
負担金	264,900				
	減価償却費				
		9,571,733			
	有形固定資産 減価償却費				
		9,571,733			
	営業外費用				
		131,000			
	その他営業外費用				
		131,000			
	その他雑支出				
		131,000			
費用合計				121,770,670	

ハ 固定資産明細書

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却未済高	備考
					当年度増加額	当年度減少額	累計		
土地	円 1,397,755,319	円 -	円 -	円 1,397,755,319	円 -	円 -	円 -	円 1,397,755,319	
建物	46,283,021	-	-	46,283,021	-	-	43,968,869	2,314,152	
建物附属 構築物	27,390,891	-	-	27,390,891	-	-	26,021,346	1,369,545	
機械及び装置	589,878,938	-	-	589,878,938	9,443,573	-	435,184,239	154,694,699	
器具及び備品	22,606,510	-	-	22,606,510	98,010	-	21,378,834	1,227,676	
建設仮勘定	9,643,266	-	-	9,643,266	30,150	-	9,063,952	579,314	
	-	2,200,000	-	2,200,000	-	-	-	2,200,000	
計	2,093,557,945	2,200,000	-	2,095,757,945	9,571,733	-	535,617,240	1,560,140,705	

(2) 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	当年度 減価償却高	年度末 現在高	備考
電話加入権	円 80,800	円 -	円 -	円 -	円 80,800	
計	80,800	-	-	-	80,800	

(3) 投資明細書

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	備考
長期貸付金	円 130,000,000	円 -	円 50,000,000	円 80,000,000	
計	130,000,000	-	50,000,000	80,000,000	

(6) 令和2年度決算に関する注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

- ・定額法
- ・主な耐用年数

建物	10年
建物附属	10～15年
構築物	10～40年
機械及び装置	5～15年
器具及び備品	4～5年

(2) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

職員の退職手当は、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれに伴う法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給（支出）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上するものであるが、当年度は発生しないため、計上していない。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 セグメント情報に関する注記

(1) 報告セグメントの概要

小樽市産業廃棄物等処分事業では、産業廃棄物の処分に関し一処分場での管理運営の費用負担をしていることから単一の報告セグメントとしている。

(2) 報告セグメントごとの営業収益、営業費用、営業損益金額、経常損益金額、資産、負債その他の項目の金額

単一の報告セグメントのため、記載を省略する。

3 その他の注記

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給し、並びにこれに伴う法定福利費を支出するため、賞与引当金 2,190,000 円を取り崩した。

3 令和2年度 小樽市産業廃棄物等処分事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本年度の産業廃棄物等処分事業は、当初予算においては、建物の解体工事等から排出されるがれき類の搬入量を5,211トン、同じく建設木くずの搬入量を3,725トン、道路や建物の建設工事等から排出される土砂の搬入量を15,871トン、廃プラスチック類の搬入量を2,424トン、その他の産業廃棄物の搬入量を3,134トン、合計で30,365トンを見込み計上しましたが、決算においては、がれき類が5,354トン、建設木くずが2,825トン、土砂が53,953トン、廃プラスチック類が2,213トン、その他の産業廃棄物が2,347トンとなり、合計では66,692トンとなりました。

これは、道道小樽環状線工事（仮称：最上トンネルの準備工）や一般国道5号小樽市塩谷改良工事（塩谷トンネル関連工事）等により土砂の搬入量が増加したためです。

また、これにより処分手数料も当初予算より5,518,440円増加しました。

この結果、収益は139,428,732円、費用は121,770,670円となり、17,658,062円の純利益が生じました。

ロ 議会議決事項

種別	議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
令和2年第3回定例会	20	令和元年度小樽市産業廃棄物等処分事業決算認定について	令和 2.9.1	令和 2.12.2
令和3年第1回定例会	12	令和3年度小樽市産業廃棄物等処分事業会計予算	3.2.24	3.3.18
	23	令和2年度小樽市産業廃棄物等処分事業会計補正予算	3.2.24	3.3.18

ハ 職員に関する事項

区分	令和2年度 人	令和元年度 人	比較 人
主幹（技術職員）	1	1	—
係長（事務職員）	1	1	—
主査（事務職員）	1	1	—
計	3	3	—

ニ 不課税収入の用途の特定について

収益的収入のうち、その他雑収益（不課税）383,800円については、報酬の課税仕入れ外に252,800円（特定収入外）、その他雑支出の課税仕入れ外に131,000円（特定収入外）それぞれ充当しました。

(2) 工事等

イ 建設改良費の概要【税込】

名称	内容	金額	着工年月日 竣工年月日	資産科目
築造 工事費	二重締切鋼矢板補修 実施設計業務	円 2,420,000	令和 2.8.5 2.12.10	建設仮勘定

(3) 業 務

イ 業 務 量

科目	区分		比 較
	令和2年度	令和元年度	
	ト	ト	ト
が れ き 類	5,354	7,360	△ 2,006
建 設 木 く ず	2,825	3,805	△ 980
土 砂	53,953	64,684	△ 10,731
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	2,213	2,401	△ 188
そ の 他 の 産 業 廃 棄 物	2,347	2,946	△ 599
計	66,692	81,196	△ 14,504

ロ 事業収入に関する事項【税抜】

科目	区分		比 較	
	令和2年度	令和元年度	金 額	
	円	%	円	%
営業収益	138,100,400	99.0	167,825,663	99.1
産 業 廃 棄 物 等 処 分 手 数 料	138,100,400	99.0	167,825,663	99.1
営業外収益	1,328,332	1.0	1,462,002	0.9
受 取 利 息 及 び 配 当 金	65,854	0.0	43,122	0.0
そ の 他 営 業 外 収 益	1,262,478	1.0	1,418,880	0.9
計	139,428,732	100.0	169,287,665	100.0

ハ 事業費に関する事項【税抜】

科目	区分		比 較	
	令和2年度	令和元年度	金 額	
	費用	構成比	費用	構成比
	円	%	円	%
営業費用	121,639,670	99.9	120,820,721	99.9
維 持 管 理 費	112,067,937	92.0	110,693,298	91.5
減 価 償 却 費	9,571,733	7.9	10,127,423	8.4
営業外費用	131,000	0.1	155,000	0.1
そ の 他 営 業 外 費 用	131,000	0.1	155,000	0.1
計	121,770,670	100.0	120,975,721	100.0

(4) 会 計

イ 重要契約の要旨【税込】

契約年月日	契約金額	契約の内容	契約の相手方
令和	円		
2.4.1	79,200,000	産業廃棄物最終処分場 管理運営等業務	樽栄環境整備株式会社